



1. エントランス広場
2. 北側接道
3. 散歩道
4. 展望デッキ

た時のことまで考慮して、放射線状に割り付けるといふ地道な作業、驚きの施工がされている。限られた予算のなかで、高価な仕上材の質に頼らない本質的な空間の追

屋島山上交流拠点施設「やしまーる」 概要

- 所在地 香川県高松市屋島東町1784-6
- 建築主 高松市
- 設計者 ㈱SUO、㈱Style-A
- 施工者 谷口建設興業㈱、㈱数内建設
- 竣工日 2022年7月14日

- 敷地面積 3,416㎡
- 建築面積 1,178㎡
- 延床面積 983㎡

- 階数 地上2階
- 構造 鉄骨造、壁式鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

日建連表彰2024



第65回BCS賞

「やしまーる」 屋島山上交流拠点施設

選定理由【選考委員】

陶器浩・宮崎浩・松村正人

瀬戸内海国立公園の一部、屋島は豊かな自然を有し、その特徴的な地形と歴史性から、かつては高松市のランドマークとして栄えていたが、人口減少や社会の変化に伴い、近年は賑わいを失っていた。「やしまーる」と名付けられた一、〇〇〇平方メートルの当施設は、このエリアを再興するための交流拠点施設として企画された。屋島山頂は、「メサ」と呼ばれる硬岩層に覆われ、「屋島」自身が国の史跡・天然記念物に指定されているため、計画案は、地盤を傷めぬよう部分的にそと地表に接しながら、ほとんどの部分を鉄骨柱で持ち上げた、緩やかな勾配を持つ廻廊空間からなる有機的で軽い建築となっている。

施設の構成は、非常にシンプルであり、唯一空間的に閉じた室として

計画されているスペースは、歴史に残る戦い「源平合戦」をパノラマで演出した展示スペースのみである。あとは、入館から退館するまで、平面的にも断面的にも緩やかに変化する外部に開かれた一筆書きのような透明な空間が連続している。敷地のアンジュレーションを柔らかに写し取るように、土地のレベル差を巧みに取り込んでいたため、周辺の風景が視線とともに変化し、コントロールされた内部空間のスケールと合わせ、心地よい場を生み出している。館内の情報発信も、控えめでありながらもわかりやすく、パブリックなビジターセンターとして、施設内外での体験を通して屋島の環境にかかわる機会を提供するという大きな目的をしっかりと実現している。

構造から仕上げにいたるまで、一見、何気ないシンプルなディテールであるが、ほぼすべての部位が役物

の集積と言つてよいこの建築を実現するための設計者・施工者による時間をかけての丁寧な技術的検討やものづくりに対する真摯な取り組みは高い評価に値する。

一例を挙げると、香川県産材で有名な庵治石^{あじいし}を使用した屋根葺きも、歩留まりのわるい庵治石の端材を多くの地元石材業者の協力を得て集め、三〇、〇〇〇枚にもおよぶ不定形な石板を全数割付作図を行って施工したという。また、内部のボード天井の曲率がきついため、将来的に万が一ひび割れが発生した時のことまで考

求や施工の工夫、図面だけでは表現できない建築への思い入れが、この施設のすがすがしい魅力を生み出していることは間違いない。事業計画から建物完成まで、発注者・設計者・施工者が難度の高いプロジェクトに一体となって取り組み、竣工前から参加した施設管理者がその想いを受け継ぎ、職能を越えてこの施設を通じて地域の魅力をより一層高める努力が続いている。このチームによって支えられているこの建築は、まさにBCS賞に相応しい幸せな作品である。

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パークハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまーる」／読売テレビ新社屋